

Press Release

2014年8月

報道関係各位

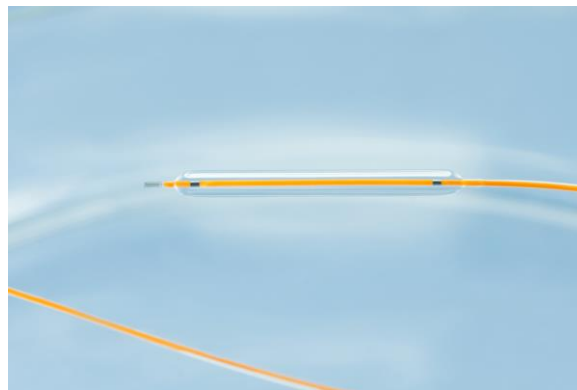
バイオトロニックジャパン株式会社

PTCAバルーンの日本国内での販売委託契約を締結

バイオトロニックジャパン株式会社(本社:東京都渋谷区、代表取締役社長:ジェフリー・アニス)は、2014年8月1日付けで日本ライフライン株式会社とバイオトロニック社製の新製品「Pantera LEOバルーンカテーテル(冠動脈拡張用高耐圧バルーン)」の日本国内販売委託のための契約を締結しました。

バイオトロニック社は、欧州に本社を置き心臓ペースメーカーなどの不整脈関連機器を主軸に成長しており50年以上の歴史を持つ企業です。不整脈関連以外にも低侵襲治療機器(主にカテーテル関連製品)をグローバルに拡販していくという戦略を打ち出しており、本契約を日本のカテーテル市場に対する本格参入の第一歩と位置付けています。本製品の国内販売元となる日本ライフライン株式会社は、心臓循環器領域の医療機器を幅広く扱い、豊富な実績を有する国内企業であり、本締結が両社にとって成長の糧になると確信しています。バイオトロニック社は、薬剤溶出ステントの日本における承認取得のために昨年より日欧共同治験を開始しており、将来製品の準備も進めています。

PTCAとは、経皮的冠動脈形成術のことであり、心臓に栄養を与える血管(冠動脈)が、狭くなったり詰まったりすることで起こる狭心症や心筋梗塞に対して細い管(カテーテル)で冠動脈を拡げる治療方法です。



販売名: パンテラ・レオ PTCAバルーンカテーテル

BIOTRONIK社について

バイオトロニック社は世界を代表する心臓血管関連の医療機器製造業者の1つとして、ドイツのベルリン本社をはじめとして全世界に 5,600 人以上の従業員を抱え、100 を超える国や地域で事業を展開しており、数百万個の機器の植込み実績を誇っています。1963 年にドイツ初の植込み型心臓ペースメーカーを開発して以来、BIOTRONIK 社は、市場にいくつものイノベーションを発表してきました。その代表的なものとして、2000 年に米国で導入された世界初の心臓植込み型デバイスの遠隔モニタリングシステムである BIOTRONIK Home Monitoring[®]、2010 年に世界初の 4Fr 対応末梢用ステント(200 長)、2011 年に業界初の Orsiro(オシロ)ハイブリッド薬剤溶出ステント、2012 年に欧州で認可された世界初の条件付き MRI 対応植込み型除細動器および同両室ペーシング機能付き植込み型除細動器などがあります。

www.biotronik.com

バイオトロニックジャパン株式会社について

バイオトロニックジャパン株式会社は、ドイツに本社を置くBIOTRONIK社の心疾患治療技術をいち早く日本に導入するため、2003年10月に日本バイオトロニック株式会社として設立された日本法人です。2005年9月にバイオトロニックジャパン株式会社と改名しました。ドイツ企業特有の技術力と製品開発力、医師、コメディカルおよび患者さんのニーズを素早く反映するスピードを活かし、今後も日本における先端技術のイノベーションを目指して活動して参ります。

<http://www.biotronik.jp>

(本件に関する報道関係者からのお問い合わせ先)

バイオトロニックジャパン株式会社
バスキュラーインターベンションプログラム
ディレクター 益田 宗幸
代表電話: 03-3473-7471

E-mail: muneyuki.masuda@biotronik.com